

吸収合併に係る事前開示書面

(会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に定める書面)

令和 2 年 4 月 23 日

宇部興産株式会社

令和2年4月23日

吸収合併に係る事前開示書類

山口県宇部市大字小串 1978 番地の 96

宇部興産株式会社
代表取締役社長 泉原 雅人



当社は、令和2年4月23日付で、宇部アンモニア工業有限会社（以下「宇部アンモニア工業」といいます。）との間で締結した吸収合併契約書に基づき、令和2年10月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、宇部アンモニア工業を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本吸収合併」といいます。）を行うこととしました。

本吸収合併に関し、当社が会社法第794条1項及び会社法施行規則第191条により開示すべき事項は、下記のとおりです。なお、本書記載事項のうち、写しである書類については全て原本の写しに相違ありません。

記

1. 吸収合併契約の内容

別紙1の通り、令和2年4月23日付で、合併契約書を締結致しました。

2. 対価の相当性および割当の相当性

当社は、吸収合併消滅会社である宇部アンモニア工業の発行済株式全部を所有しているため、合併に際しては株式の発行及び金銭等の交付は行いません。

3. 新株予約権の承継に関する相当性

吸収合併消滅会社である宇部アンモニア工業は、新株予約権を発行していません。

4. 吸収合併消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等に関する事項

(1) 吸収合併消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等の内容

別紙2の通りです。

(2) 臨時計算書類等の内容

該当書類は作成されていません。

(3) 最終事業年度の末日後に吸収合併消滅会社に生じた会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

当社は、令和元年 11 月 30 日付で、協和発酵バイオ株式会社から同社が保有する宇部アンモニア工業株式（6,750 株）の全てを取得し、また令和 2 年 3 月 31 日付で、西部石油株式会社から同社が保有する宇部アンモニア工業株式（4,000 株）の全てを取得し、同日付で宇部アンモニア工業を完全子会社化しました。

5. 最終事業年度の末日後に当社に生じた会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

該当事象は発生しておりません。

6. 債務の履行の見込に関する事項

本吸収合併後の当社の資産の額は、債務の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本吸収合併後の当社の収益状況について、当社の負担すべき債務の履行に支障を及ぼすような事態は、現在のところ予測されていません。よって、本吸収合併により、当社の負担する債務について、履行の見込があると判断致します。

以上

別紙1 合併契約書（写し）



合 併 契 約 書

宇部興産株式会社(以下「甲」という)と宇部アンモニア工業有限会社(以下「乙」という)とは両社の合併(以下「本件合併」という)に関し次の通り契約を締結する。

(合併の方法)

第1条 甲及び乙は、甲を存続会社、乙を消滅会社として吸収合併する。

(当事者の商号及び住所)

第2条 合併当事会社の商号及び住所は以下の通りである。

吸収合併存続会社：(商号) 宇部興産株式会社

(住所) 山口県宇部市大字小串1978番地の96

吸収合併消滅会社：(商号) 宇部アンモニア工業有限会社

(住所) 山口県宇部市大字藤曲2575番地

(効力発生日)

第3条 本件合併がその効力を生ずる日(以下「効力発生日」という)は令和2年10月1日とする。但し、合併手続上必要があるときは、甲及び乙は協議のうえこれを変更することができる。

(合併に際して交付する株式)

第4条 甲は、乙の全株式を所有するので、本件合併に際し対価の交付は行わない。

(会社財産等の管理)

第5条 甲及び乙は、本契約締結後、効力発生日に至る迄、善良なる管理者の注意を以てそれぞれの業務を執行し且つ会社財産を管理するものとし、本件合併に重要な影響を及ぼす行為を行う場合には、予め相手方と協議のうえ、相手方の書面による事前承諾を得なければならない。

(会社財産の引継)

第6条 甲は、効力発生日において、乙の資産、負債及びこれらに付随する一切の権利義務を承継する。

(合併に際し退任する乙の取締役及び監査役の退職慰労金)

第7条 本件合併に伴い退任する乙の取締役及び監査役に対する退職慰労金は、乙の株主総会の承認を得て支給する。

(確認事項)

第8条 甲及び乙は、本件合併に関して次のとおり確認する。

(1) 本件合併は、会社法第796条第2項の適用により、甲の株主総会の承認を要さない。但し、議決権を有する株主の議決権の9分の1を超える株主から本件合併をやめることの請求があった場合には、効力発生日の前日までに、甲の株主総会において、本件合併に必要な決議を求めることとする。

(2) 本件合併は、会社法第784条第1項の適用により、乙の株主総会の承認を要さない。

(合併条件の変更又は本契約の解除)

第9条 本契約締結後、効力発生日に至るまでの間に、本件合併を著しく阻害する事情が生じたときは、甲乙協議のうえ合併条件を変更又は本契約を解除することができる。

(協議決定)

第10条 本契約に定めるもののほか、本件合併に関して必要な事項は本契約の趣旨に従って甲乙協議のうえこれを決定する。

以上、本契約締結の証として本書2通を作成し甲乙記名捺印のうえ各1通を保有する。

令和2年4月23日

甲 山口県宇部市大字小串1978番地の96
宇部興産株式会社
代表取締役 泉原 雅人



乙 山口県宇部市大字藤曲2575
宇部アンモニア工業有限会社
代表取締役 高瀬 太





別紙2 吸収合併消滅会社の最終計算書類

第 5 0 期 報 告 書

自 2 0 1 8 年 4 月 1 日

至 2 0 1 9 年 3 月 3 1 日

宇部アンモニア工業有限公司

1. 現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期においては、アンモニア国際価格（極東 C&F 高値レベル）は、2018 年 4 月の 320 ドルから、2018 年 10 月には 413 ドルまで上昇しました。しかし、海外新規プラントの立ち上がり等により下落が続き、2019 年 3 月には 315 ドルとなりました。一方、アンモニア原料である石油コークス価格は、8 月までは 86 ドルまで上昇し、その後大きく下落しました。12 月には底を打ち 60 ドル程度で推移しています。

こうした状況の中で、2018 年 5 月上旬から約 1 ヶ月半の期間を掛けて 2 年ぶりの定期検査を実施し予定通りの立ち上げを完了しました。しかし、定検完了後に相次いだプラント不調により 3 度のプラント停止を余儀なくされ、関係者の皆様に多大なるご迷惑並びにご心配をお掛けすることになりました。ここに深くお詫び申し上げます。今後これらの再発防止を含め、設備管理及び運転管理の更なる充実、人材の育成と技術伝承を図り、安定操業・安定供給に努めて参ります。

結果、当社の当期の業績ですが、アンモニア生産量は前期に比べて 18%減の 308 千トン、販売量は前期に比べて 18%減の 309 千トンとなり、生産量・販売量ともに減少しました。売上高は、アンモニアの販売数量は減少しましたが、定期検査実施による原価上昇で前期比 17%増の 160 億 7 千 5 百万円になりました。損益面につきましては、営業利益は 9 千 3 百万円となりましたが、固定資産廃棄損等の営業外費用を計上し、当期純利益は 4 千 2 百万円となりました。

当期のトピックスとしては、運用開始後 22 年が経過した DCS の一式更新工事を完了し順調に稼動しております。

最後になりますが、当社は今後も安定生産・安定供給並びに原価低減というコストセンターとしての使命を果たすべく鋭意努めてまいりますので、株主各社様におかれましては、尚一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 資金調達の状況

自己資金及び借入金により所要資金は賅いました。

(3) 設備投資の状況

当期の設備投資は、総額8億8千1百万円となりました。

当期中に完成した主要設備は、次の通りです。

・DCS更新

(4) 財産及び損益の状況の推移

年度 区分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 (当期)	前期比
(百万円) 売上高	13,081	13,726	13,729	16,075	2,346増
(百万円) 当期純利益	59	27	25	42	17増
(百万円) 総資産	9,926	11,496	10,861	11,959	1,098増

(5) 重要な親会社及び子会社の状況(2019年3月31日現在)

親会社との関係

当社の親会社は、宇部興産株式会社であり、当社へ73.125%を出資しています。

又、親会社に対し、主としてアンモニアを販売しています。

(6) 主要な事業内容(2019年3月31日現在)

アンモニアの製造並びに販売

(7) 事業所

本社・工場 山口県宇部市大字藤曲2575番地

(8) 従業員の状況 (2019年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
0名	—	—	—

(9) 主要な借入先 (2019年3月31日現在)

借入先	借入金残高	前期比
株式会社三菱UFJ銀行	1,167,875千円	
株式会社みずほ銀行	1,002,900千円	
株式会社山口銀行	847,000千円	
農林中央金庫	732,700千円	
主要な借入先計	3,750,475千円	
その他借入先計	848,500千円	
借入金合計	4,598,975千円	1,867,290千円増

2. 株式に関する事項 (2019年3月31日現在)

- ① 発行済株式の総数 40,000株
- ② 1株の金額 100,000円
- ③ 株主数 3名
- ④ 全株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
宇部興産株式会社	29,250株	73.125%
協和発酵バイオ株式会社	6,750	16.875
西部石油株式会社	4,000	10.000

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役（2019年3月31日現在）

氏 名	地 位	重要な兼職の状況
三 浦 英 恒	* 取締役社長	宇部興産株式会社執行役員
泉 原 雅 人	取 締 役	宇部興産株式会社取締役専務執行役員
山 本 哲 之	取 締 役	宇部興産株式会社化学カンパニー化学生産本部宇部藤曲工場長
南 方 健 志	取 締 役	協和発酵バイオ株式会社代表取締役社長
玉 井 裕 人	取 締 役	西部石油株式会社代表取締役社長
武 波 伸 夫	監 査 役	宇部興産株式会社情報システム部長
中 村 俊 也	監 査 役	協和発酵バイオ株式会社取締役執行役員管理部長

注1. *印は代表取締役であります。

注2. 当期中に退任した取締役

取 締 役 杉 下 秀 幸 （2018年 4月 1日退任）

取 締 役 伊 藤 智 明 （2019年 3月 27日退任）

注3. 当期中に就任した取締役

取 締 役 泉 原 雅 人 （2018年 4月 1日就任）

取 締 役 玉 井 裕 人 （2019年 3月 27日就任）

貸 借 対 照 表

2019年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	5,208,171	流動負債	5,839,320
現金及び預金	26,597	買掛金	1,250,619
売掛金	4,131,510	短期借入金	3,798,970
前払費用	647	未払金	772,398
未収入金	1,048,907	未払法人税等	16,609
預け金	509	未払費用	118
		前受収益	607
固定資産	6,750,533	固定負債	801,189
有形固定資産	6,329,255	長期借入金	800,005
建物	297,842	長期前受収益	1,184
構築物	389,397		
機械装置	4,401,422		
車両運搬具	0		
工具器具備品	10,287		
土地	1,202,224	負債合計	6,640,509
建設仮勘定	28,084		
		(純資産の部)	
無形固定資産	26,266	株主資本	5,318,194
ソフトウェア	24,388	資本金	4,000,000
その他無形固定資産	1,878	利益剰余金	1,318,194
		利益準備金	106,000
投資その他の資産	395,012	その他利益剰余金	1,212,194
長期前払費用	294,146	繰越利益剰余金	1,212,194
繰延税金資産	22,866		
その他投資	78,000		
		純資産合計	5,318,194
資産合計	11,958,704	負債・純資産合計	11,958,704

損 益 計 算 書

自 2018年 4月 1日
至 2019年 3月 31日

(単位：千円)

売 上 高		16,075,205
売 上 原 価		15,962,840
売 上 総 利 益		112,365
販売費及び一般管理費		19,149
営 業 利 益		93,216
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	19	
そ の 他	5,767	5,785
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	18,804	
固 定 資 産 廃 棄 損	55,844	74,648
経 常 利 益		24,353
税 引 前 当 期 純 利 益		24,353
法人税・住民税及び事業税	4,781	
法 人 税 等 調 整 額	△ 22,866	△ 18,085
当 期 純 利 益		42,438

株主資本等変動計算書

自 2018年 4月 1日
至 2019年 3月31日

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	
		利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
			繰越利益剰余金				
当期首残高	4,000,000	106,000	1,169,756	1,275,756	5,275,756	0	5,275,756
当期変動額							
剰余金の配当				0	0		0
当期純利益			42,438	42,438	42,438	0	42,438
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)				0	0	0	0
当期変動額合計	0	0	42,438	42,438	42,438	0	42,438
当期末残高	4,000,000	106,000	1,212,194	1,318,194	5,318,194	0	5,318,194

注1) 発行済株式の数 40,000株

個別注記表

1. 貸借対照表・損益計算書及び株主資本等変動計算書の金額は、千円未満を四捨五入表示しています。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

建物・構築物・機械装置：定額法

車輛運搬具・工具器具備品：定率法

無形固定資産（リース資産を除く）： 定額法。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法によっています。

(2) 引当金の計上方法

貸倒引当金

： 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

(3) 消費税等の会計処理

： 税抜方式によっています。

3. 会計方針の変更

(1) 税効果会計の適用

当期より税効果会計を適用しています。

これにより、繰延税金資産が23百万円増加し、法人税等調整額が23百万円減少しています。

(追加情報)

(1) 『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等の適用

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当期より適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産に区分に表示しております。

監 査 報 告 書

2019年5月20日

宇部アンモニア工業有限会社

取締役社長 三 浦 英 恒 殿

宇部アンモニア工業有限会社

監査役 福 本 敬 三 ㊟

監査役 中 村 俊 也 ㊟

2018年4月1日から2019年3月31日までの第50期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査しました。その方法及び結果につき以下のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

監査役は、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討しました。

2. 監査の結果

計算書類及び附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上